

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立特別支援学校羽生ふじ高等学園 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者 (学年・人数)	全学年 第1学年40名、第2学年39名、第3学年39名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (全国大会壮行会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 (全国障害者スポーツ大会への参加・観戦) ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	(1) 第19回全国障害者スポーツ大会茨城大会への出場選手 (在校生・卒業生)の応援と、出場選手との交流をする。 (2) 事前学習・選手壮行会を通じて、全国障害者スポーツ大会 とオリンピック・パラリンピック競技大会の理解を深める。
5 取組内容	(1) 全国大会壮行会を実施する。  <応援旗を生徒玄関に掲示>  <壮行会>   <全国障害者スポーツ大会・オリンピック・パラリンピック大会の学習>

	<p>(2) 第19回全国障害者スポーツ大会茨城大会への選手派遣・観戦 陸上部員を中心として参加希望者を募り、応援バスツアーを実施する。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) 全国大会壮行会において、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出場選手の今までの取組を紹介し、決意表明とともに、学校全体のスポーツ大会への関心を高めた。 ② 全国障害者スポーツ大会とオリンピック・パラリンピックの歴史と意義を学び、東京オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めた。 ③ 応援ツアー参加者と有志による応援団を結成し、具体的な応援方法の実演と応援グッズの作成を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 大会開催期日である10月12日(土)～14日(月)に台風19号が関東地方に甚大な被害を与え、全日程が中止となり、応援ツアーは実施できなかった。</p>
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>(1) 全国大会出場選手が、在校生と卒業生だったため、応援ツアーへの参加希望者を在校生に加え卒業生と保護者等も対象として、広く募った。</p> <p>(2) ツアー参加生徒たちが中心となって、具体的な応援方法の検討と応援グッズの作成を行った。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>・学校行事は、前年度後半には確定してしまうため、具体的に観戦、応援の日程を決定することが難しくなることもあり、さらに、今回のように中止となった場合の代替行事の検討まで進めておくとする、早期の取組を必要とする。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>・2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の実施年となり、大会の観戦・応援など、具体的で積極的な取組を行いたい。</p>